

<学校名> 草加市立新田小学校

<所在地> 草加市旭町6丁目12-11

<電話> 048-941-3087

<本事例の特徴>

本校では、外国語専科の他に、ジャマイカ人のALTが週に3日、中学校から兼務教員が週に1日、小中連携担当教員が週に2日勤務している。それぞれの立場で、3年生～6年生の外国語活動や外国語の時間を担当し、授業以外にも積極的に児童と触れ合うことで、外国語への興味・関心をもたせている。

<具体的な取組や成果>

○低学年や特別支援学級の外国語活動

特別支援学級では月に2回程度、低学年では年に2回程度、それぞれで外国語活動を行っている。授業の内容としては、カードやかんたを使った遊びや歌、チャンツなどを行っている。



また、ALTと短い言葉で会話をしたり、担任とALTとが英語で会話をする様子を見たりすることで、普段触れ合うことが少ない外国語や外国の文化に触れる機会を大切にしている。

○中学年の外国語活動

授業の内容としては、カードを使った遊びや歌、チャンツ、ペア活動などを行い、楽しく学ぶことができるようにしている。授業後の振り返りに、「英語が言えた!」「楽しかった!」「もっと英語を話したい!」と記入する児童が多くいる。また、専科教員とALTが英語を話す様子を見たり、学習した言葉でALTと会話をしたりすることで、コミュニケーションを図る楽しさを体験する活動を充実させている。

○高学年の外国語の授業

授業の内容としては、歌やチャンツのほかに、フォニックス（発音のルールを学ぶ方法）を行っている。また、児童自身が既習事項や教師が提示した例文を活用して簡単な英文を書き、それを発表するプレゼンテーションを行っている。その際、ALTからジェスチャーやemotion(感情)の起伏など発表に必要なアドバイスをもらっている。小中連携教員とも協力し、英語でコミュニケーションをとる手助けをしてもらっている。さらに、小中一貫を意識し、単元（中学校紹介など）によっては中学校を見据えた授業を展開している。

○外国語ルームの装飾・掲示物の作成

側面や背面の掲示板には、児童の作品を掲示するコーナーや、英語で色や形を掲示したコーナーを作成した。

世界地図も掲示しており、授業で扱われる国の位置を確認することができる。視覚的にも楽しみ、学ぶことができる環境にしている。

